

トカラ列島口之島、諏訪之瀬島、平島、小宝島、宝島の昆虫（2016年）

守山 泰司¹・金井 賢一²

Insects collected on Kuchino-shima, Suwanose-jima, Taira-jima, Kodakara-jima and Takara-jima (Tokara Islands) in 2016

Taiji MORIYAMA¹ and Kenichi KANAI²

キーワード：チョウ、セミ、トンボ、新分布記録

はじめに

著者らはトカラ列島において、継続的な調査を実施しており、その成果は鹿児島県立博物館研究報告に発表を続けている（過去の研究報告参照）。2016年もキマダラセセリやヒメシルビアシジミなどに注目しながらチョウ類を中心に調査を行った。全般的に天候に恵まれず大きな成果は上がらなかったが、2004年の昆虫保護条例制定以降減少しているこの地域の記録を蓄積し、今後比較検討する際に利用することを目的に報告する。

なお、調査結果に示す採集年は、すべて2016年なので省略した。

<口之島2月>

1. 調査日程

2016年 2月27日：鹿児島発（23:00）フェリーとしま
28日：口之島着（5:15）集落～前之浜～戸尻～横岳南麓～セランマ～戸尻～ウエウラ展望所～横岳南麓～セランマ～集落
29日：集落～前岳～セランマ～集落
3月 1日：集落～セランマ～集落
口之島発（16:30）フェリーとしま
2日：鹿児島着（01:00）
島内の移動は宿の車を借りて行った。

2. 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

3. 調査結果

越冬していると予想したリュウキュウアサギマダラを目的としたが、日が射すことがないため気温も上がらなかったことから、チョウの成虫は全く見られなかった。また海上の波が高く、2月29日予定のフェリーとしまは欠航となり、1日延泊となった。



図1. 口之島の調査地点

今回訪れなかった調査地点についても6月、12月の調査結果に関連するものは掲載している。

1 鹿児島昆虫同好会

2 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

コウチュウ目 **Coleoptera**

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

・アオヒメハナムグリ *Gametis forticula*

セランマ (1ex. 目撃 29. II)

枯葉の下の土中に成虫で越冬していた。

チョウ目 **Lepidoptera**

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・アサギマダラ *Parantica sita*

セランマ (4齢幼虫2exs. 採集, 3齢2exs. 2齢1ex. 目撃 29. II)

ツルモウリンカの葉に見られた。持ち帰った幼虫はサナギになったが、2頭ともヤドリバエに寄生されており、成虫にならなかった。

<口之島6月>

1. 調査日程

2016年 6月10日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま

11日：口之島着 (5:10) 西之浜～前之浜～横岳南麓～セランマ～戸尻～西之浜, セランマ (灯火採集)

12日：西之浜～戸尻～前之浜～西之浜
口之島発 (13:30) フェリーとしま, 鹿児島着 (20:00)

島内の移動は宿の車を借りて行った。

2. 調査者

金井賢一：(前述)

守山泰司：2016年度鹿児島県立博物館館外協力者, 鹿児島昆虫同好会会員

3. 調査結果

*は今回注意していたが記録できなかった種。

11日口之島到着時は小雨模様、その後時折晴れ間もみられるようになったが、11:00ごろからは日差しもなくなり、気温も上がらず時折雨が降るといふ、悪条件であった。12日も朝のうちは雨模様であったが、9:30ごろより天候は回復しはじめ、徐々に調査日和となった。後ろ髪を引かれる思いで、口之島を後にした。

なお、採集者は守山を M, 金井を K と略記した。

蜻蛉目 (トンボ目) **ODONATA**

トンボ科 **Libellulidae**

・オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare*

前之浜 (1♂ K 11. VI, 1♂ M 12. VI)

セランマ (1♂ K 11. VI)

・ホソミシオカラトンボ *Orthetrum luzonicum*

前之浜 (1♂ K 12. VI)

・タイワンシオカラトンボ *Orthetrum glaucum*

前之浜 (1♀ M 11. VI)

同翅目 (ヨコバイ目) **ORTHOPTERA**

セミ科 **Cicadidae**

・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*

戸尻 (1♂1抜け殻 K, 5♂5♀ M 11. VI)

戸尻海岸の常緑樹の低木で多数の個体が見られた。

そのほかリュウキュウマツの疎林でも少数の鳴き声が聞かれた。

直翅目 (バッタ目) **ORTHOPTERA**

イナゴ科 **Catantopidae**

・ツチイナゴ *Patanga japonica*

セランマ (1♂ K 11. VI), 横岳 (1♂ M 11. VI)

鞘翅目 (コガネムシ目) **COLEOPTERA**

ハンミョウ科 **Cicindelidae**

・コハンミョウ *Cicindela specularis*

戸尻 (1♂ M 11. VI)

クワガタムシ科 **Lucanidae**

・アマミノコギリクワガタトカラ列島亜種

Prosopocoilus dissimilis elegans

セランマ (1♂ K 11. VI)

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

・アオドウガネ *Anomala albopilosa*

セランマ (1ex.M 11. VI)

・アオヒメハナムグリ *Gametis forticula*

セランマ (1ex.M 11. VI)

・リュウキュウツヤハナムグリ中之島亜種

Protaetia pryeri tsutsu II

戸尻 (1ex.K, 1ex.M 11. VI), セランマ (2exs.M 11. VI), 横岳 (2exs. M 11. VI)

ホタル科 **Lampyridae**

・キイロスジボタル *Curtos costipennis*

セランマ (10♂ M, K 11. VI)

西之浜～集落間でも目撃できた。

コメツキムシ科 **Elateridae**

・シロモンサビキコリ *Agrypnus scutellaris*

西之浜 (1ex.K 12. VI)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

- ・キボシカミキリ *Psacotha hilaris*
前之浜 (1♂ M 11. VI)

膜翅目 (ハチ目) **HYMENOPTERA**

スズメバチ科 **Vespidae**

- ・オオフトオビドロバチ
Anterhynchium flavomarginatum
セランマ (1♀ M, 1♀ K 11. VI)
- ・キアシナガバチ *Polistes rothneyi*
前之浜 (1♀ K 11. VI), セランマ (1♀ K 11. VI)

ツチバチ科 **Scoliidae**

- ・アサジツチバチ *Carinoscolia melanosoma*
西之浜 (1♂ K 12. VI)

アナバチ科 **Sphecidae**

- ・コクロアナバチ *Isodontia nigella*
セランマ (1ex.K 11. VI)
- ・キンモウアナバチ *Sphex (Sphex) diabolicus*
戸尻 (多数目撃 11. VI)
メスが穴を掘り、クダマキモドキ類を搬入する様子を観察した。



図2. クダマキモドキ類を巣穴に搬入するキンモウアナバチ

鱗翅目 (チョウ目) **LEPIDOPTERA**

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
前之浜 (1♂ K 11. VI)
各所で普通に見られた。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
セランマ (1♂ M 11. VI)

各所で見られたが少なかった。

- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
横岳南麓 (1♂1♀ M 11. VI)
各所で見られたが少なかった。
- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*
横岳南麓 (1♂1♀ M 11. VI), セランマ (2♂2♀ K, 2♀中齢幼虫3exs. ハマセンダン M 11. VI), 前之浜 (1♂目撃 M 12. VI)

島の南側の樹林帯では普通に見られた。第2化の開始めなのか、新鮮な個体が多かった。

シロチョウ科 **Pieridae**

- ・モンシロチョウ **Pieris rapae**
西之浜 (1♂ M 11. VI), 前之浜 (1♂ K 11. VI, 1♀1齢幼虫1ex. タネツケバナ M 12. VI)

耕作地周辺で見られたが、多くはなかった。

- ・台湾モンシロチョウ *Pieris canidia*
前之浜 (1♀ K 11. VI, 1♀1齢幼虫1ex. タネツケバナ M 12. VI)

迷蝶。口之島初記録。詳細は守山・金井 (2016b) に報告済である。

- ・モンキチョウ **Colias erate**
西之浜 (1ex. 目撃 M 12. VI)
他には見ていない。

* スジグロシロチョウ *Pieris melate*

トカラでは中之島、諏訪之瀬島で記録がある。この春は県内各地で多く、前月訪れた種子島も例外ではなかった。口之島でも見られるのではないかと、*Pieris* はすべてネットに入れるよう心がけていたが、本種は見られなかった。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*
前之浜 (1♂ M, 2♂2♀ K 11. VI), 横岳南麓 (1♀ M 11. VI), セランマ (2♂2♀ K 11. VI), 戸尻 (2♂2♀ K 11. VI)

各所で見られたが、多くはなかった。

- ・アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava*
食樹の交じる樹林で普通に見られた。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*
前之浜 (1♀ M 12. VI)
他所では見ていない。少なかった。
- ・アカタテハ *Vanessa indica*
前之浜で少数を見ている。また、カラムシに幼虫も

見られたが多くはなかった。

- ・ルリタテハ *Kaniska canace*
前之浜 (1♀ K, 1♀ M 12. VI)
他所では見ていない。少なかった。
- ・リュウキュウムラサキ *Hypolimnias bolina*
前之浜 (1♀台湾型 M 12. VI)
迷蝶。他には見ていない。未交尾の飛来個体であったのか、採卵を試みたが産まなかった。
- ・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*
前岳 (1♀ K 11. VI)
他には見ていない。
- ・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*
少なかった。
- ・スジグロカバマダラ *Danaus genutia*
前之浜 (1♀ K 11. VI)
迷蝶。口之島初記録。他には見ていない。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

- ・キマダラセセリ *Potanthus flavus*
セランマ (lex. 目撃 M 11. VI), 前之浜 (1♂ K 12. IV)
他には見ていない。
- ・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*
戸尻 (1♂ K 11. VI)
前之浜の海岸近くでも少数が見られた。
- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*
前之浜 (lex. 目撃 M 12. VI)
他には見ていない。

<口之島12月>

1. 調査日程

2016年12月 2日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま
3日：口之島着 (5:20) 西之浜～集落～前之浜～横岳南麓～前岳南麓～セランマ～戸尻～前之浜～前岳林道～セランマ
4日：西之浜～平瀬海水浴場～集落～前之浜～西之浜 口之島発 (13:40) フェリーとしま、鹿児島着 (20:20)
島内の移動は宿の車を借りて行った。

2. 調査者

守山泰司：(前述)

3. 調査結果

*は今回注意していたが記録できなかった種。

3日、4日の両日ともうす曇で時折日が射す程度であったが、この時期としては比較的気温も高く、虫の活動する姿もそれなりに見られた。

鱗翅目 (チョウ目) **LEPIDOPTERA**

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
前之浜 (lex. 目撃 3. XII), 集落 (lex. 目撃 4. XII)
ほかには見ていない。通常の発生なのか、高温による異常な発生なのか、興味深い。

シロチョウ科 **Pieridae**

- ・モンシロチョウ *Pieris rapae*
前之浜 (2♀ 3. XII, 2exs. 目撃 4. XII)
ほかには見ていない。
- ・キタキチョウ *Eurema mandarina*
前之浜 (1♀秋型 4. XII)
ほかには見ていない。

* ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

集落内のギョボクも丹念に探索したが、発生の痕跡も確認できなかった。この島には定着していないのかもしれない。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*
前之浜 (2♂1♀ 3. XII, 1♂1♀ 4. XII), 集落 (1♂1♀ 4. XII), 横岳南麓 (1♂ 3. XII), 前岳南麓 (1♂1♀ 3. XII)
カタバミ群落では普通に見られた。
- ・タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*
前之浜 (1♂1♀ 3. XII, 1♂1♀ 4. XII)
迷蝶、このほかには見ていない。1頭はシロノセンダングサを訪花していたものを採集した。
- ・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*
集落 (1♂ 4. XII)
各所で見られたが、少なかった。
- ・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*
前之浜 (3♀ 3. XII), 横岳南麓 (1♀ 3. XII)
各所で普通に見られた。シロノセンダングサ、ツワブキ、ツルソバ、ランタナなどの花をさかんに訪れていた。

- ・ルリウラナミシジミ *Jamides bochus*
前之浜 (2♂2♀ 3. XII, 1♂1♀ 4. XII), 集落 (1♂1♀ 4. XII)
迷蝶。一時的に発生したものか。訪花植物として、シロノセンダングサ、ツワブキを確認している。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

集落 (1♂1♀ 4. XII)

集落内のソテツの周辺でのみ、少数が見られた。

*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

口之島では2010年を最後に記録がない(金井・守山, 2012)。本種の再確認を主たる目的に訪れたが、かつての生息地は藪化しており生息の可能性は乏しい。そのほか各所で見られたヤハズソウの大きな群落も、藪化や道路整備で消滅しており、もはや好適な発生環境は見出せなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・アカタテハ *Vanessa indica*

各所で見られたが、少なかった。

・ルリタテハ *Kaniska canace*

前之浜 (3卵 3. XII, 2卵1齢幼虫 5exs. 4. XII)

成虫は見えていない。すべてハマサルトリイバラ葉上から採集した。鹿児島市内の屋内(18~22℃)で飼育したところ、すべて1月中に羽化した。口之島では以前4月に訪れたとき新鮮な個体を採集しており、幼虫で越冬しているものもいるのであろう。

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

前之浜 (1♀目撃 3. XII)

ほかには見えていない。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

各所で見られたが、少なかった。

・アサギマダラ *Parantica sita*

各所で見られたが、多くはなかった。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

前之浜 (1♂ 3. XII)

褐色セセリはこの1頭しか見えていない。

< 諏訪之瀬島 >

1. 調査日程

2016年 7月29日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま
30日：諏訪之瀬島着 (7:50) 集落~ナベタ
オ~集落~切石港~集落
31日：集落 諏訪之瀬島発 (11:05) フェ
リーとしま, 鹿児島着 (19:50)

調査はすべて徒歩で行った。

2. 調査者

守山泰司：(前述)

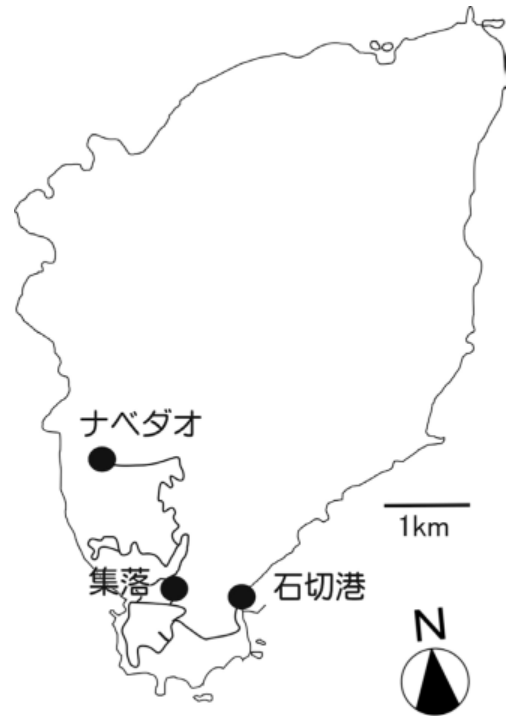


図3. 諏訪之瀬島の調査地点

3. 調査結果

*は今回注意していたが記録できなかった種。

30日は概ね晴天で、風は強いもののみならずの調査日和であった。31日は7:30ごろには夜半からの雨もあがり、時折日差しも見られるようになったが、風はさらに強まり飛んでいるチョウはほとんど見かけなかった。

蜻蛉目 (トンボ目) **ODONATA**

トンボ科 **Libellulidae**

・ハネビロトンボ *Tramea Virginia*

集落 (1♂ 31. VII)

直翅目 (バッタ目) **ORTHOPTERA**

ツユムシ科 **Phaneropteridae**

・ダイトウクダマキモドキ *Phaulula daitoensis*

集落 (2♂3♀ 30. VII)

バッタ科 **Acrididae**

・ツチイナゴ *Patanga japonica*

集落 (1♂ 30. VII)

・ハネナガイナゴの一種 *Oxya* sp.

集落 (1♀ 30. VII)

ハネナガイナゴ, タイワンハネナガイナゴの区別ができない。

同翅目 (ヨコバイ目) **HOMOPTERA**

セミ科 **Cicadidae**

- ・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*
集落 (1♂ 30. VII), ナベタオ (1♂ 30. VII)
各所で鳴き声を聞いたが, 少なかった。
- ・クマゼミ *Cryptotympana facialis*
集落 (5♂5♀ 30. VII)
多数の鳴き声を聞いたが, 新鮮なものは少なかった。
- ・ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis*
ナベタオ (1♀ 30. VII)
集落よりナベタオまでの林道沿いの樹林帯で, 局所的に鳴き声を聞いた。
- ・ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*
集落 (2♂3♀ 30. VII), ナベタオ (2♂3♀ 30. VII)
普通に鳴き声を聞いたが, 次種より局所的であった。
- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwa*
集落 (5♂3♀ 31. VII)
各所で普通に鳴き声を聞いた。

鞘翅目 (コウチュウ目) **COLEOPTERA**

ハンミョウ科 **Cicindelidae**

- ・オキナワシロヘリハンミョウ
Cicindela yuasai okinawensis
集落 (1♀ 30. VII)
諏訪之瀬島初記録。本種は屋久島・種子島以北がシロヘリハンミョウ *Cicindela yuasai yuasai*, 奄美以南が亜種オキナワシロヘリハンミョウとされている。命名当時トカラ列島産の個体は調査されておらず, 今回榎戸良裕氏に写真で同定をお願いしたところ, 「肩部に光沢が見られるのでオキナワシロヘリハンミョウと思われるが, 正確を期すならば命名者に確認してもらう必要がある」とご教示頂いた。

クワガタムシ科 **Lucanidae**

- ・アマミノコギリクワガタトカラ列島亜種
Prosopocoilus dissimilis elegans
集落 (3♂3♀ 30. VII, 1♂2♀ 31. VII)

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

- ・アオドウガネ *Anomala albopilosa*
集落 (7exs. 30. VII)
- ・カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii*
集落 (2♂2♀ 30. VII)

ナガシクイムシ科 **Bostrychidae**

- ・オオナガシクイ *Heterobostrychus hamatipennis*

集落 (1ex. 30. VII)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

- ・ウスバカミキリ *Anomala albopilosa*
集落 (1♂1♀ 30. VII)
- ・リュウキュウヒメカミキリ *Ceresium fuscum*
集落 (1♀ 30. VII)

膜翅目 (ハチ目) **HYMENOPTERA**

ツチバチ科 **Scoliidae**

- ・アカアシハラナガツチバチ *Campsomeris mojiensis*
集落 (1♂ 30. VII)
- ・アカスジツチバチ *Carinoscolia melanosoma*
集落 (1♂ 30. VII)
- ・ヒメハラナガツチバチ
Campsomeriella (Annulimeris) annulata
集落 (2♂1♀ 30. VII)

スズメバチ科 **Vespidae**

- ・ミカドドロバチ *Euodynerus nipanicus*
集落 (1♀ 30. VII)

鱗翅目 (チョウ目) **LEPIDOPTERA**

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
集落 (2♂6♀ 30. VII)
非常に多かった。薄暗い樹林内を歩いても, 葉上に休止している本種が目についた。また, 数百はいたであろう, 多数の本種がその花にまさに群がっているカラスザンショウの高木もあった。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
集落内で見られたが, 少なかった。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
集落 (2♀ 30. VII, 中齢幼虫3exs. カラスザンショウ 31. VII)
各所で普通に見られた。
- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*
集落 (1♂5♀ 30. VII, 中齢幼虫1ex. カラスザンショウ 31. VII)
各所で普通に見られた。

シロチョウ科 **Pieridae**

- ・ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*
集落 (1♀ギンモン型, 1♂目撃 30. VII)
民宿のご主人によると, 「少し前まで庭のハイビスカスに白い蝶がたくさん集まっていた」という。2週

間前の宝島で多数の本種を見ており、同じ頃この島にも多数飛来していたのであろう。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落 (3♂2♀ 30. VII, 3♂2♀ 31. VII)

カタバミ群落で普通に見られた。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

小・中学校のソテツの植え込みのまわりでは普通に見られた。

*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

諏訪之瀬島では記録がない。集落内のヤハズソウ群落は縮小しており、本種も確認できなかった。

*タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*

アカメガシワを丹念に探したが、確認できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・ルリタテハ *Kaniska canace*

集落 (2卵, 中齢幼虫8exs. ハマサルトリイバラ

30. VII, 1ex. 目撃 31. VII)

集落内にハマサルトリイバラは多い。

・リュウキュウムラサキ *Hypolimnias bolina*

集落 (1♂ 30. VII, 1♀フィリピン型 31. VII)

迷蝶。

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

集落 (1♀ 30. VII)

少なかった。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

集落 (1♂ 30. VII)

少なかった。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

集落 (4♂ 30. VII)

普通に見られた。

*キマダラセセリ *Potanthus flavus*

トカラでは口之島、中之島に記録がある。諏訪之瀬島にも生息しているのではないかと注意深く探索したが、確認できなかった。

*イチモンジセセリ *Parnara guttata*

注意していたが、確認できなかった。

ドクガ科 **Lymantriidae**

・シロシタマイマイ *Lymantria albescens*

集落 (1♂ 30. VII)

ヤガ科 **Noctuidae**

・キマエコノハ *Eudocima salamina*

ナベダオ (1♂ 30. VII)

<平島>

1. 調査日程

2016年 9月30日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま

10月 1日：平島着 (9:05) 集落～大浦展望台～
東之浜港 口之島発 (16:30) フェリー
としま

2日：鹿児島着 (2:20)

調査はすべて徒歩で行った。

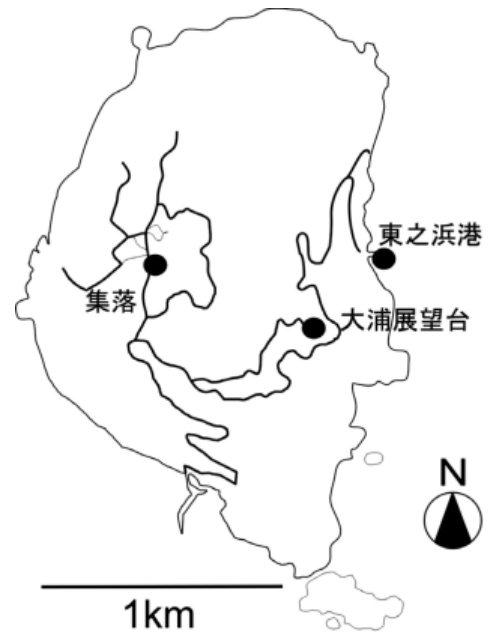


図4. 平島の調査地点

2. 調査者

守山泰司：(前述)

3. 調査結果

*は今回注意していたが記録できなかった種。

台風18号のため、フェリーとしまは宝島折り返しとなった。風は強かったが、終始晴天でまずまずの調査日和であった。

トンボ目 **Odonata**

イトトンボ科 **Agrionidae**

・アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis*

集落 (1♂ 1. X)

トンボ科 **Libellulidae**

・ヒメトンボ *Diplacodes trivialis*

集落 (1♂1♀ 1. X)

- ・ベニトンボ *Trithemis aurora*

集落 (1♀ 1. X)

- ・オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare*

東之浜 (1♂ 1. X)

- ・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

集落 (1♂ 1. X)

同翅目 (ヨコバイ目) HOMOPTERA

セミ科 Cicadidae

- ・ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

集落 (1♂1♀ 30. VII)

各所で鳴き声を聞いたが、次種より局所的で少なかった。

- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae*

集落 (5♂3♀ 31. VII)

各所で鳴き声を聞いた。

鱗翅目 (チョウ目) LEPIDOPTERA

アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*

集落 (1ex. 目撃 1. X)

他には見ていない。

シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

集落 (5♂2♀ 1. X), 大浦展望台 (1♂1♀ 1. X), 東之浜 (1♂ 1. X)

各所で普通に見られた。草刈など適度に人の手が入り、本種の生息に好適な環境が維持されているようである。トカラ列島では、平島は現在もっとも安定した、本種の発生地となっているのかもしれない。

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落 (5♂3♀ 1. X), 東之浜 (1♂1♀ 1. X)

各所で普通に見られた。

- ・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

集落 (1♂1♀ 1. X)

各所で見られ、集落内では特に多かった。

- * タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

発生期と思われるが、今回も確認できなかった。唯一の記録である2007年9月に1♀を採集した場所も (中峯, 2008), 特に環境が悪化している印象はない。しかし、各所でシバハギの群落は維持されているものの、この夏の高温の影響か、花穂をつけているものはごく

わずかであった。蕾から若実のみを食す本種のような種では、平島のような小さな島においてはこのような開花時期の変動、あるいはその多寡が、定着・継続的発生に大きく影響するかもしれない。

タテハチョウ科 Nymphalidae

- ・ルリタテハ *Kaniska canace*

集落 (1ex. 目撃 1. X)

他には見ていない。この地域での主要な食草と思われるハマサルトリイバラも少ない。

- ・タテハモドキ *Junonia almana*

集落 (2♂ 1. X)

2頭とも同じ場所で採集、他には見ていない。トカラ列島では最近の記録がなく、近年生息していないと考えていたが、2007年 (中峯, 2008) 以来9年ぶりに確認できた。

- ・ツマグロヒヨウモン *Argyreus hyperbius*

集落内で見られたが、少なかった。

- ・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

集落 (1♂ 1. X)

集落内で見られたが、少なかった。

- ・カバマダラ *Danaus chrysippus*

集落 (1♀ 1. X)

他には見ていない。

セセリチョウ科 Hesperidae

- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (1♂ 1. X)

各所で普通に見られた。注意していたが、褐色セセリはすべて本種で、チャバネセセリ *Pelopidas mathias* の姿はなかった。

<小宝島>

1. 調査日程

2016年 9月23日: 鹿児島発 (23:00) フェリーとしま

24日: 小宝島着 (11:30) 集落~南風原牧場~里原~横瀬海岸~城之前漁港~集落~里原~横瀬海岸~城之前漁港~集落

25日: 小宝島発 (7:15) フェリーとしま,

鹿児島着 (20:20)

調査はすべて徒歩で行った。

2. 調査者

守山泰司: (前述)

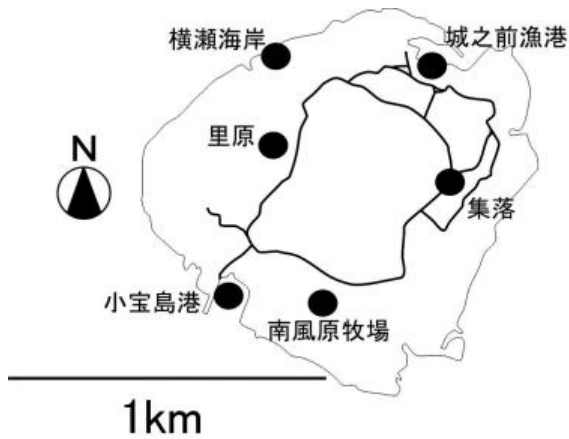


図5. 小宝島の調査地点

3. 調査結果

*は今回注意していたが記録できなかった種。

うす曇で時折日差しもあり，台風17号の影響で徐々に風が強まってきたものの，まずまずの調査日和であった。

トンボ目 Odonata

トンボ科 Libellulidae

- ・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*
集落 (1♀ 24. IX)
- ・タイリクアキアカネ *Sympetrum depressiusculum*
集落 (1♀ 24. IX)

同翅目 (ヨコバイ目) HOMOPTERA

セミ科 Cicadidae

- ・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*
リュウキュウマツで少数の鳴き声を聞くことができた。
- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwa*
各地で鳴き声が聞かれたが，多くはなかった。

膜翅目 (ハチ目) HYMENOPTERA

ツチバチ科 Scoliidae

- ・ヒメハラナガツチバチ
Campsomeriella (Annulimeris) annulata
集落 (1♀ 24. IX)

スズメバチ科 Vespidae

- ・フカイオオドロバチ *Rhynchium quinquecinctum*
集落 (1♂ 24. IX)
- ・ミナミチビドロバチ *Stenodynerus kusigematii*
集落 (1♂ 24. IX)

ハキリバチ科 Megachilidae

- ・オキナワキバラハキリバチ
Megachile (Amegachile) okinawana
集落 (1♀ 24. IX)

ミツバチ科 Apidae

- ・アマミクマバチ *Xylocopa (Alloxylocopa) amamensis*
集落 (1♀ 24. IX)

鱗翅目 (チョウ目) LEPIDOPTERA

アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
横瀬海岸 (1♀ 24. IX)
シロノセンダングサを訪花しているものを採集した。同じ場所でもう1頭目撃しているが，他には見えていない。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
集落 (1♂ 24. IX)
各所で見られたが，少なかった。

シロチョウ科 Pieridae

- ・ナミエシロチョウ *Appias paulina*
南風原牧場 (1♀ 24. IX)
他には見えていない。食樹ツゲモドキは分布しているが，確認できなかった。
- ・キチョウ *Eurema* sp.
集落 (4♂ 24. IX)

すべて同じ場所で採集，近くにはクサネムの群落があった。注意していたが，他には見えていない。汚損個体で，キタキチョウ *E. mandarina* なのか，キチョウ *E. hecabe* なのかの同定は保留とした。

シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*
南風原牧場 (1ex. 目撃 24. IX)
食樹は分布しておらず，時期的に北からの移動個体と思われる。他には見えていない。
- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*
集落 (2♂1♀ 24. IX)，南風原牧場 (3♂3♀ 24. IX)，城之前漁港集落 (1♀ 24. IX)
各所のカタバミ群落に多かった。
- ・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*
集落 (1♂ 24. IX)
各所で見られたが，少なかった。
- ・オジロシジミ *Euchrysops anejus*
集落 (1♀ 24. IX)，横瀬海岸 (1♂ 24. IX)，城之前

漁港 (5♂1♀ 24. IX)

小宝島初記録。おそらく海岸部で発生していたものと思われるが、食餌植物は確認できなかった。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

集落 (2♂1♀ 24. IX), 城之前漁港 (1♀ 24. IX)

小宝島初記録。各所で普通に見られた。

*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

未発表の記録が1例あり、本種の確認が今回調査の最大の目的であったが、確認できなかった。生息しているとすれば南風原牧場が有力と考え、丹念に探索したが、ヤハズソウ、ハイメドハギの群落を見つけられなかった。他所に良さそうな環境も見当たらず、現時点での本種定着の可能性は低いと思われる。

*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

生息しているとすれば発生期と思われる注意していた。食草のシバハギは記録されているが、本種と共に確認できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

南風原牧場 (1♀ 24. IX)

他には見ていない。

・アカタテハ *Vanessa indica*

里原 (1♀ 24. IX)

各所で見られたが、少なかった。

・ルリタテハ *Kaniska canace*

集落 (1♂ 24. IX), 横瀬海岸 (1♂ 24. IX)

各所で見られたが、少なかった。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

集落 (2♂ 24. IX), 城之前漁港 (1♂ 24. IX)

各所で見られたが、多くはなかった。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (1♂1♀ 24. IX), 横瀬海岸 (1♂ 24. IX)

シロノセンダングサを訪花しているものが各所で普通に見られた。

*チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

注意していたが、褐色のセセリはすべて前種であった。

スズメガ科 **Sphingidae**

・ホウジャク *Macroglossum stellatarum*

横瀬 (1ex. 24. IX)

・ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta*

横瀬 (1ex. 24. IX)

<宝島>

1. 調査日程

2016年 7月15日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま

16日：宝島前籠港着 (13:00)

集落～イマキラ岳～1周道路～大間泊
～集落～城之山牧場～集落

17日：集落～大籠～1周道路～イマキラ岳

～大間泊～大原牧場～1周道路～集落

18日：宝島発 (6:30) フェリーとしま, 鹿

児島着 (19:45)

島内の移動は、宿で借りた車で行った。

2. 調査者

守山泰司：(前述)

3. 調査結果

*は今回注意していたが、記録できなかった種。

16日はうす曇で時折日差しが射す程度。17日も午前中は厚い雲がかかり日差しはなく、午後になって時々晴れ間がのぞくようになったが、終始強風が吹いていた。両日ともに気温は高いものの、あまり恵まれた条件ではなかった。

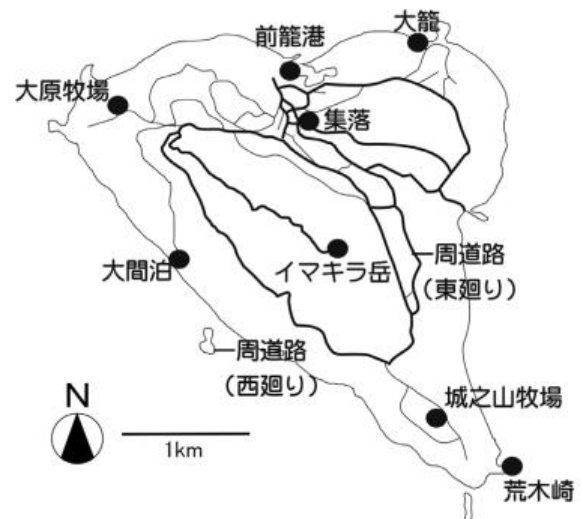


図6. 宝島の調査地点

トンボ目 **Odonata**

イトトンボ科 **Agrionidae**

・リュウキュウベニイトトンボ *Ceriagrion latericum*

荒木崎 (1♀ 16. VII)

トンボ科 **Libellulidae**

・オオハラビロトンボ *Lyriothemis elegantissima*

集落 (1♀ 17. VII)

宝島初記録

- ・オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare*
集落 (2♂ 17. VII), イマキラ岳 (1♀ 17. VII)
- ・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*
集落 (1♀ 17. VII)

同翅目 (ヨコバイ目) **HOMOPTERA**

セミ科 **Cicadidae**

- ・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*
集落 (1♂ 16. VII)
各所のリュウキュウマツで鳴き声を聞いたが、多くはなかった。
- ・クマゼミ *Cryptotympana facialis*
集落 (5♂5♀ 16. VII)
最盛期だったのか、各地で多数の鳴き声を聞いた。
- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwaie*
17日、大原牧場で少数の鳴き声を聞いた。

直翅目 (バッタ目) **ORTHOPTERA**

ツユムシ科 **Phaneropteridae**

- ・ヒメクダマキモドキ *Phaulula gracilis*
集落 (1♂ 16. VII)

バッタ科 **Acrididae**

- ・ショウリョウバッタ *Acrida cinerea*
集落 (1♂ 16. VII)
- ・マダラバッタ *Aiolopus tamulus*
荒木崎 (1♂ 16. VII)

膜翅目 (ハチ目) **HYMENOPTERA**

スズメバチ科 **Vespidae**

- ・フカイオオドロバチ *Rhynchium quinquecinctum*
集落 (1♂ 16. VII, 1♂ 17. VII)
- ・ミカドドロバチ *Euodynerus nipanicus*
集落 (1♂ 16. VII I, 2♀ 17. VII)
- ・キアシナガバチ *Polistes rothneyi*
集落 (1♀ 17. VII)
- ・セグロアシナガバチ *Polistes jadwigae*
集落 (1♀ 16. VII I, 1♀ 17. VII)

アナバチ科 **Sphecidae**

- ・コクロアナバチ *Isodontia nigella*
集落 (1♀ 16. VII)

鞘翅目 (コガネムシ目) **COLEOPTERA**

アツバコガネ科 **Hybosoridae**

- ・フチトリアツバコガネ *Phaeochrous emarginatus*
集落 (10exs. 16. VII)

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

- ・アオドウガネ *Anomala albopilosa*
前籠 (9exs. 16. VII)
- ・オキナワシロスジコガネ *Polyphylla schoenfeldti*
前籠 (4♂5♀ 17. VII)
- ・コカブトムシ *Eophileurus chinensis*
前籠 (1♂ 16. VII)
- ・トカラクロコガネ *Holotrichia tokara*
集落 (1♂ 17. VII)
- ・トカラシロテンハナムグリ
Protaetia orientalis tokarana
集落 (2♂3♀ 17. VII)

コメツキムシ科 **Elateridae**

- ・シロモンサビキコリ *Agrypnus scutellaris*
集落 (1ex. 16. VII)

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

- ・ヨツスジトラカミキリ
Chlorophorus quinquefasciatus
集落 (1♀ 17. VII)
- ・リュウキュウヒメカミキリ *Ceresium fuscum*
集落 (1♂ 16. VII)
- ・キボシカミキリ *Psacotheta hilaris*
集落 (1♂ 16. VII)

鱗翅目 (チョウ目) **LEPIDOPTERA**

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
集落 (1♀ 17. VII)
各所で普通に見られた。
- ・アゲハ *Papilio xuthus*
各所で見られたが、少なかった。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*
集落 (1♂2♀ 17. VII)
各所で普通に見られた。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*
各所で見られたが、少なかった。

シロチョウ科 **Pieridae**

- ・ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*
集落 (3♂ 16. VII, 4♂3♀ 17. VII)

集落内、周辺部には食樹のギョボクも多く、本種も多かった。幼生期は卵のみ確認している。

・ナミエシロチョウ *Appias paulina*

イマキラ岳南麓 (1♂ 16. VII, 1♂ 17. VII)

同じヤブガラシを訪花しているものを採集した。他には見ていない。食樹ツゲモドキも分布しているが、確認できなかった。

・モンシロチョウ *Pieris rapae*

集落 (1♂1♀ 17. VII)

6月に口之島でタイワンモンシロチョウを採集しており、*Pieris* には注意していたが、この2頭のみであった。アブラナ科の栽培植物にも気が付かなかった。

・キチョウ *Eurema sp*

集落 (1♂ 16. VII, 1♂ 17. VII)

他には見ていない。汚損個体で、キタキチョウ *E. mandarina* なのか、キチョウ *E. hecabe* なのかの同定は保留とした。

・モンキチョウ *Colias erate*

集落 (1ex. 目撃 17. VII)

他には見ていない。

・ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*

集落 (1♂1♀ 16. VII, 3♂5♀ 17. VII)

迷蝶。すべてギンモン型。集落内のハイビスカス、ランタナ、ブーゲンビリアなどを訪花しているものが多数見られた。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

・ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

城之山牧場 (1♂1♀ 16. VII)

他には見ていないが時期的なものか。城之山牧場の環境は安定しているようで、食草と思われるヤハズソウ、ハイメドハギも多く、本種の定着地となっているようであった。一方、2012年の調査で本種を多数確認できた大原牧場では(金井・守山, 2014)、圃場整備によりヤハズソウが激減しており、本種も確認できなかった。

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落 (5♂2♀ 17. VII), 大籠 (1♀ 17. VII), 城之山牧場 (1♂1♀ 16. VII)

各所のカタバミ群落で普通に見られた。

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

大籠 (1♀ 17. VII)

海岸のノアズキの群落で少数見られた。

・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

集落 (1♂ 17. VII)

時期的な要因か、少なかった。他には見ていない。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

集落 (1♀ 17. VII), 大籠 (2♀ 17. VII)

各所で見られたが、集落内にはソテツが多いためか特に多かった。

* タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*

宝島での記録はないが、トカラ列島では口之島、中之島、諏訪之瀬島の各島で記録されている。本種の食樹のひとつ、常緑のクスノキガシワは宝島が北限で(平田, 1995)、少なくはない。本種の定着北限となる可能性もあり注意していたが、確認できなかった。

* オジロシジミ *Euchrysops anejus*

海岸のノアズキ群落を丹念に探したが、確認できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

・ルリタテハ *Kaniska canace*

集落 (1♀ 16. VII, 2♂4♀ 17. VII), イマキラ岳 (3♀ 16. VII)

各所で普通に見られた。特に集落内では落下した桃の腐果に多数集まっていた。

・アオタテハモドキ *Junonia orithya*

集落 (1♀ . 目撃 16. VII)

迷蝶。他には見ていない。

・リュウキュウムラサキ *Hypolimnua bolina*

集落 (1♂ 17. VII), イマキラ岳 (1♂ 17. VII)

迷蝶。他に集落の外れで台湾型1♀を目撃している。

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

各所で見られたが、多くはなかった。

・ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

集落 (1ex. 目撃 16. VII)

他には見ていない。

・オオゴマダラ *Idea leuconoe*

集落 (1ex. 目撃 16. VII)

夕方、休息場所を探すかのように、上空をゆったりと飛翔していた。他には見ていない。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

集落 (1♀ 17. VII)

各地で見られたが、少なかった。

・カバマダラ *Danaus chrysippus*

集落 (1♀ 目撃 17. VII)

トウワタの群落で見かけたが、他には見ていない。幼生期も確認できなかった。

・ ツمامラサキマダラ *Euploea mulciber*

イマキラ岳 (1♀ 17. VII)

山頂部のシロノセンダングサを訪花しているものを採集した。他には見ていない。

* テングチョウ *Libythea lepita*

集落内にはリュウキュウエノキは少なくなく、注意していたが確認できなかった。採集記録は少なくないが、現在の定着は疑わしい。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

* チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

* イチモンジセセリ *Parnara guttata*

注意していたが、両種ともに確認できなかった。

ヒトリガ科 **Arctiidae**

・ オキナワモンシロモドキ *Nyctemera okinawensis*

大籠 (1♂2♀ 17. VII)

・ モンシロモドキ *Nyctemera adversata*

集落 (1♂1♀ 17. VII)

ヤガ科 **Noctuidae**

・ キマエコノハ *Eudocima salaminia*

集落 (1♀ 17. VII)

まとめ

2015年に引き続き、2016年もタイワンツバメシジミ、ヒメシルビアシジミ、キマダラセセリの新分布地の発見および個体群の推移を中心に観察したが、この点では成果が得られなかった。しかし、天候に恵まれない日も多かったため、今回の結果のみで「諏訪之瀬島にはキマダラセセリはいない」という結論は出せない。昨年(守山・金井, 2016a)に示した3つのテー

マを継続して、調査していきたい。

謝辞

今回の調査にあたり昆虫採取・捕獲の許可をくださった十島村に深く感謝する。またトンボに関して同定および助言を頂いた松比良邦彦氏、オキナワシロヘリハンミョウについて助言を頂いた榎戸良裕氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 福田晴夫・守山泰司(2013)鹿児島県産チョウ類の分布ノート. *Satsuma*, 150: 3-40.
- 平田浩(1995)陸上の生物(植物). 十島村誌: 56-146.
- 金井賢一・守山泰司(2012)2010年10月口之島・中之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告, 31: 67-72.
- 金井賢一・守山泰司(2014)2012年4月および10月のトカラ列島宝島の昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告, 33: 39-44.
- 守山泰司・金井賢一(2016a)トカラ列島口之島, 中之島, 諏訪之瀬島の昆虫. 鹿児島県立博物館研究報告, 35: 57-66.
- 守山泰司・金井賢一(2016b)トカラ口之島におけるタイワンモンシロチョウの記録. *Satsuma*, 157: 46-47.
- 中峯浩司(2008)トカラ列島平島及び中之島の昆虫(2007年秋). 鹿児島県立博物館研究報告, 27: 83-92.

